

第2回 就労系福祉サービス事業所見学

(令和元年9月19日 訪問記録)

プロジェクトの就労系福祉サービス事業所見学2回目が終了しました。今回の見学は、就労系福祉サービス事業所の就労支援の取り組みや配慮を学び、自社の雇用管理に取り入れたいという思いのもと企画しました。また、就労系福祉サービス事業所を利用している方に対し、就職に向かうためのモチベーションに働きかける意味合いも目的の1つです。

今回の訪問は、社会福祉法人音更町柏寿協会・社会医療法人博愛会開西病院・帯広電子株式会社・パーソルパナソニックファクトリーパートナーズ株式会社北海道支社帯広営業所（2名）のプロジェクトメンバー5名と帯広市役所2名、事務局（十勝障がい者就業・生活支援センターだいち）の計8名で訪問しました。

1 件目・・・ちあファクトリー（就労移行支援事業所）

ちあファクトリーでは、衣類・雑貨を海外向けにリユースするための仕分け作業を中心に見学しました。若年層の男性が多く、作業ごとに作られた広い活動場所と、活気ある雰囲気印象的でした。支援の方法としては「配慮は極力最小限にとどめる」「失敗体験から仕事に必要なことや気持ちの切り替えを学ぶ」という話があり、企業に就職した後



を考えて対応しているとのことでした。

プロジェクトメンバーからも、仕事の伝え方や作業環境の構造化、手順書の利用等の配慮に対する質問があり、活発な意見交換が行われました。

また、ご縁のあった企業に対し、いきなりの雇用ではなく施設外就労を通し、お互いの希望がマッチしてから就職に結びつけるという話も伺いました。

作業見学後は、利用されている方3名との懇談会を行い、利用の経緯や将来就きたい仕事などをお聞きしました。話し合いを通し、希望の職種について、経験の幅やイメージを広げることの難しさを感じました。



2 件目・・・カフェ i k o i（就労継続支援 A 型事業所）

西24条にある、こじんまりとしたかわいらしいカフェに訪問しました。料理作りや注文・接客も利用者さんが対応してくださり、おいしいランチをいただきました。特にオムライスが、利用者さんが得意なメニューということで、ソースから手作りしている1品です。



食事後は、利用者の皆さん、企業の方からのお互いの質問コーナーがありました。「就きたい仕事はなんですか？」の問いに「清掃です」

との答えが多く、経験のある仕事が希望の仕事になっていることを再度実感しました。清掃にまつわる仕事は今回見学に参加した企業すべてにあるため、視野を広げて考えることや、可能性を広げるために様々な仕事にチャレンジしてほしいという意見が出ました。また、利用者さんから「自分はコミュニケーションが苦手で仕事がうまくいかない、人が替わった時に職場で障がいについての引き継ぎがされていないかった」という話を聞き、「雇い側と



して、障がいのある方が安心して働ける環境を作るのが自分たちの役目」とし、「困ったことや悩みを発信してくれば対処がしやすい」という意見がありました。最後には、プロジェクトメンバーを利用者さん全員が囲んで話を聞き、就労に向けての意見に関心が高いことを感じました。



3 件目・・・クローバー（就労移行支援事業所）

最後は「クローバー」へ訪問しました。まず見学させていただいたのは就労移行の「就労プログラム」です。社会に出るために必要なコミュニケーションについて、テキストを音読している様子を拝見しました。通常、午前は施設外就労、午後は就労プログラムという活動が主なようです。

その後、事業概要や支援の方法の説明を受け、職員同士がコミュニケーションをとりやすくする工夫をし、情報共有を重視し、利用者さんの方が力を発揮できる仕事のマッチングを目指していると説明を受けました。

質問コーナーでは、心臓病を抱えた利用者さんから「心臓病を理由に不採用にならないか？」という不安に対し、「心臓病が理由では不採用にならない」「運動に制限があるのなら、そこから話し合いで活躍できる仕事とマッチングすれば良い」というプロジェクトメンバーからの意見に、利用者さんの表情が明るくなるのを感じました。



見学後の一番の話題は「経験したことが希望の職種になり、視野が広がらない」という内容でした。日々の訓練を通して「何を経験し、どんな仕事選びをしていくのか」に疑問を感じたようです。世の中にある沢山の仕事を考えると、ご本人の気づいていない可能性や仕事とのマッチングがあるかもしれません。

そのためにも、来年年明けに開催予定である『仕事の魅力発見イベント』にたくさんの方にお越しいただき、仕事の内容を学んだり、体験してほしいという話で盛り上がりました。（※仕事の魅力発見イベント→このプロジェクトが企画する障がいを持つ求職者向けの職種紹介・体験イベントです。）

今回の見学を通し、障がいのある方にも雇う企業の方にも、可能性を広げる柔軟な発想が必要だと感じました。

この活動は、10月4日にも行われ、計9事業所を訪問する予定です。

ぜひ、事業所の皆様も、この活動を利用者さんの就職への意識付けにご利用いただければと考えています。次回の報告も、ご期待ください。